

# 和歌山県教育功労者知事感謝状受賞者

## 《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に感謝状を贈呈する。

くり やま ゆう じ  
栗 山 雄 治 和歌山市立西和佐幼稚園 学校歯科医

《主な功績》 昭和49年から現在まで学校歯科医として、子供たちの健康診断を行うとともに、学校保健会が開催する講演会等にも積極的に参加することで、日々研鑽し、学校保健の充実に尽力した。また、和歌山市歯科医師会理事を務め、和歌山市の学校歯科保健向上の推進に貢献した功績は多大である。

くろ だ じゅん いち  
黒 田 純 一 和歌山市立大新小学校 他5校 学校医

《主な功績》 昭和58年から現在まで学校眼科医として、健康診断や学校保健会に従事し、子供たちの健康管理に尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会副会長や和歌山県眼科医会会長等を歴任し、学校保健の充実に尽力した功績は多大である。

てら うち ち さと  
寺 内 千 里 和歌山市立紀伊小学校 学校薬剤師

《主な功績》 昭和61年から現在まで学校薬剤師として、児童の健康的な学習環境づくりのため、環境衛生検査に積極的に取り組むとともに、伝染病やその他の疾病予防のための適切な指導助言を行い、健康の保持増進に寄与した功績は多大である。

おお たに ひろ お  
大 谷 熙 雄 橋本市立清水小学校 他1校 学校薬剤師

《主な功績》 昭和50年から現在まで学校薬剤師として、学校保健委員会や教職員に、専門的な見地から適切な指導助言を行い、学校の環境衛生の向上に寄与した。また、保護者や教職員を対象に、薬物乱用防止についての講演会を開催し、青少年の薬物乱用防止の啓発活動を行い、安心・安全な学校運営に努めるなど、学校保健の充実に尽力した功績は多大である。

くり やま  
栗 山

つかさ  
司

橋本市立応其小学校 学校医

《主な功績》 昭和51年から現在まで、児童それぞれの心肺機能や骨格等の状態をもとに、きめ細やかな健康診断を行い、児童の健康管理に寄与した。また、学校内で発生した怪我やインフルエンザ等の流行期に、専門的な見地からの確な指導助言を行うなど、児童の健康保持増進に尽力した功績は多大である。

まえ だ やす お  
前 田 泰 生

橋本市立高野口中学校 学校医

《主な功績》 昭和58年から現在まで学校医として、生徒の肥満防止対策、体格の変容に伴う運動の推進など、専門的な見地から指導助言を行い、生徒の健康管理に尽力した。また、地域と一体となった子供の健康づくりの推進に寄与し、保護者や教職員からの信頼も厚く、学校保健の充実に尽力した功績は多大である。

おお ち まさ あき  
應 地 正 章

有田市立田鶴小学校 他6校 学校医

《主な功績》 平成2年から現在まで学校眼科医として、児童生徒の健康診断を熱心に行い、子供たちの健康管理に尽力した。また、学校関係者に対しても、視力に関する知識や、様々な症状に対する予防策を指導助言するなど、学校保健の充実に貢献した功績は多大である。

ふく つじ てつ や  
福 辻 徹 也

新宮市立神倉小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成4年から現在まで学校歯科医として、児童や教職員に対し、専門的な見地から健康教育の指導助言を行い、学校保健の充実に尽力した。また、和歌山県歯科医師会理事を務め、和歌山県の学校歯科保健向上の推進に大きく貢献した功績は多大である。

い ばた ひと し  
井 畑 仁 志

新宮市立三輪崎小学校 他1校 学校医

《主な功績》 平成5年から現在まで学校医として、児童及び教職員に対し、健康管理について専門的な見地から適切な指導助言を行い、健康教育の推進に尽力した。また、新宮市医師会理事を務め、新宮市の学校保健の充実に寄与した功績は多大である。

とよ だ えい いち  
豊 田 榮 一

岩出市立根来小学校 学校医

《主な功績》 昭和61年から現在まで学校医として、児童の健康診断や、学校保健委員会等に積極的に参加し、指導助言を行うなど、健康教育の充実に努めた。また、腎臓検診の充実に図るための学校検尿マニュアルの作成に携わるなど、学校保健教育の充実に尽力した功績は多大である。

よし だ  
吉 田

ひろし  
裕

かつらぎ町立妙寺小学校 他 1 校 学校医

《主な功績》 昭和 5 8 年から現在まで学校医として、児童生徒及び教職員の健康診断を行うとともに、健康的な学習環境づくりのため、環境衛生検査に取り組み、学校環境衛生の向上に努めた。また、健康管理面での指導助言を積極的に行い、学校保健及び健康教育の推進に尽力した功績は多大である。

ね ごろ とし お  
根 来 寿 夫

湯浅町立湯浅小学校 学校医

《主な功績》 昭和 4 7 年から現在まで学校医として、児童の健康診断をはじめ、子供たちの健康的な学習環境づくりのため、専門的な見地から児童及び教職員に指導助言を行い、学校保健及び健康教育に貢献した功績は多大である。

たけ だ ひさ こ  
武 田 寿 子

上富田町立市ノ瀬小学校 他 2 校 学校歯科医

《主な功績》 平成 4 年から現在まで学校歯科医として、児童の健康診断を行うとともに、定期的に健康相談の機会を設け、的確な指導助言を行い、学校保健衛生の推進に尽力した。また、虫歯予防の啓発活動を積極的に行うなど、学校保健の向上に貢献した功績は多大である。

かま た とし ひこ  
鎌 田 俊 彦

串本町立潮岬小学校 他 3 校 学校医

《主な功績》 昭和 6 2 年から現在まで学校医として、健康診断を行うだけでなく、健康管理面での指導助言を積極的に行い、子供たちの健康保持増進に尽力した。また、西牟婁郡医師会理事や西牟婁郡医師会会長等を歴任し、和歌山県の学校保健の充実に寄与した功績は多大である。

き ひら しょう こ  
紀 平 省 悟

和歌山県立たちばな支援学校 学校医

《主な功績》 平成 3 年から現在まで学校医として、児童生徒の健康診断を行うだけでなく、保護者からの健康相談に対し、適切な指導助言を行うなど、子供たちの健康管理に寄与した。また、平成 1 0 年に県立たちばな支援学校が「学校における医療的ケア」の文部科学省研究指定校となり、医療的ケア実施要項の作成や研修体制の構築等に携わり、教職員に対し、適切な指導助言を行い、学校保健教育の充実に貢献した功績は多大である。

## 《社会教育部門》

長年にわたり、社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した方々に感謝状を贈呈する。

### ●個人の部

えん どう ち あき  
遠 藤 千 晶

ボーイスカウト和歌山連盟 副理事長

《主な功績》 昭和59年から現在まで、ボーイスカウト和歌山第19団のリーダーとして、長年にわたり、団活動・団運営に尽力するとともに、ボーイスカウト和歌山連盟トレーナーとして、指導者の育成と資質向上に大きく貢献した。また、ボーイスカウト和歌山地区協議会地区委員長やボーイスカウト和歌山連盟理事を歴任し、ボーイスカウト和歌山地区における中心的な人物として、青少年の健全育成に尽力した功績は多大である。

み やけ くに え  
三 宅 邦 江

和歌山市婦人団体連絡協議会 本会計

《主な功績》 平成15年から和歌山市婦人団体連絡協議会の書記、平成21年から同協議会の本会計として、和歌山市婦人団体連絡協議会の各事業の実施・運営等に尽力した。また、青少年の健全育成のため、登下校時の街頭指導を行うとともに、人権学習や食育等、多岐にわたる活動を行うなど、和歌山市の生涯学習の推進及び社会教育の振興に貢献した功績は多大である。

ひがし やま たい せい  
東 山 泰 清

和歌山県社会教育委員連絡協議会 理事  
高野町社会教育委員会 議長 他

《主な功績》 昭和63年から現在まで高野町社会教育委員として、長年にわたり、地域社会の発展及び文化の向上に取り組むとともに、高野町の社会教育全般についての的確な指導助言を行い、社会教育行政の推進に尽力した。また、平成14年から和歌山県社会教育委員連絡協議会副会長を務め、本県の社会教育の発展に貢献した功績は多大である。

も はら おさむ  
茂 原 治

和歌山県卓球協会 会長

《主な功績》 平成5年から現在まで和歌山県卓球協会会長として、国民体育大会優勝者や数多くの入賞者を輩出するなど、本県の競技力向上に大きく貢献した。また、国際卓球選手権大会や全日本社会人卓球選手権大会等の多くの大会を本県に誘致し、同大会を成功に導くなど、本県卓球競技の普及・発展に尽力した功績は多大である。

なか  
中

きみ ゆき  
公 之

一般財団法人和歌山陸上競技協会 副会長

《主な功績》 平成4年から、和歌山陸上競技協会の強化部長や副理事長等の多くの役職を歴任し、長年にわたり、陸上競技の普及や選手強化に尽力した。また、全国選抜陸上競技大会を本県に誘致し、同大会を成功に導くとともに、和歌山陸上競技協会の公益法人化に向け力量を発揮し、一般財団法人和歌山陸上競技協会の設立に尽力するなど、同協会の発展に貢献した功績は多大である。

み うら り え こ  
三 浦 利 枝 子

和歌山県なぎなた連盟 理事長

全日本なぎなた連盟 理事

《主な功績》 和歌山信愛女子短期大学附属中学校・高等学校（現 和歌山信愛中学校・高等学校）のなぎなた部指導者として、数多くの全国大会出場者、世界大会出場者を育成するとともに、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会等の全国大会で優勝者を輩出するなど、本県の競技力向上に大きく貢献した。また、昭和49年から現在まで長年にわたり、和歌山県なぎなた連盟理事長を務め、本県なぎなた競技の普及と競技力向上に貢献した功績は多大である。

## ●団体の部

け ほんおどり ほ ぞんかい  
戲瓢踊保存会

代表：原 多美男 所在地：御坊市

《主な功績》 「戲瓢踊（けほんおどり）」とは、御坊市の日高別院及び小竹八幡神社の祭礼である「御坊祭」において奉納される芸能で、昭和30年に和歌山県指定無形民俗文化財第1号として指定を受け、昭和49年には国記録選択無形民俗文化財となった。戲瓢踊保存会は、昭和41年に現在の保存会が発足し、毎年、御坊祭において奉納するほか、県内外の民俗芸能公演にも積極的に参加している。また、和歌山県の無形文化遺産の継承に長年にわたり尽力し、御坊が誇る伝統文化をいかした地域振興に多大なる貢献をされており、本県の伝統文化の継承・発展に寄与した功績は多大である。

## 《教育行政部門》

長年にわたり、本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に感謝状を贈呈する。

ひら まつ かず ひこ  
平 松 一 彦

有田川町教育委員会 委員（委員長職務代行）

《主な功績》 平成3年に吉備町教育委員会委員に就任し、平成18年に合併した有田川町でも同町教育委員として、教育行政の発展に尽力した。特に、小・中学校の改築や大規模改修、耐震工事などの施設面に力を入れ、子供たちの学習環境の充実に貢献した。また、地域や保護者との話し合いの場を設け、自ら積極的に地域に出向き、学校規模の適正化等に取り組むなど、有田川町の教育行政に貢献した功績は多大である。



## 《優秀教職員》

長年にわたり、本県学校教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著である教職員の方々に感謝状を贈呈する。

よこ まち まさ のり  
横 町 真 紀

和歌山市立藤戸台小学校 校長

《主な功績》 社会科や国語科において、児童が主体となる授業計画を立て、個に応じた目標と課題意識をもたせることにより、児童の学習意欲を引き出し、児童が相互に学び合い高め合う優れた授業実践を積み重ねてきた。勤務校において後進の指導に取り組むとともに、他校の現職教育や各種研修会において指導助言や講師を務め、成果の普及に努めてきた功績は多大である。

きた がき あり のぶ  
北 垣 有 信

和歌山市立西脇中学校 校長

《主な功績》 国語科において、「生きてはたらく国語力」「豊かで確かな言語能力」の育成を目指し、新聞や情報誌等をもとにした教材開発や指導方法の工夫改善を行うとともに、生徒の表現力向上にも熱心に取り組み、指導した生徒の作品が、各種作文コンクールで優秀な成績を収めるなど成果を上げてきた。校内の指導的立場としてだけでなく、各種研究会における提案や他校の現職教育での指導助言など、国語科教育の発展に寄与してきた功績は多大である。

さか もと みほこ  
坂 本 美穂子

田辺市立長野小学校 教諭

《主な功績》 国語科や図画工作科において、児童の興味関心を高める教材教具を工夫し、児童が主体的に取り組む授業を実践してきた。複式教育においても、課題を明確にした一人学習を定着させ、間接指導においては児童自らが学習を進め、思考を深め合う学習スタイルを確立してきた。他校の現職教育や各種研修会の講師を務め、自身の教育実践をもとに国語科教育や複式教育の発展に努めてきた功績は多大である。

さか もと ひろ し  
阪 本 博 只

田辺市立高雄中学校 校長

《主な功績》 国語科の授業において、生徒同士で議論し深め合い、まとめ、発表する場を設け、生徒が自信をもって発表できるように教材、教具の開発や多様な指導技術を研究し、実践してきた。また、田辺・西牟婁国語科研究会において数多くの授業提案や実践発表を行い、他の教員の範となってきた。後進の指導に精力的に取り組むとともに、地域の国語科教育の発展に寄与してきた功績は多大である。



うえ なか ふみ こ  
上 中 史 子

紀の川市立中貴志小学校 校長

《主な功績》 総合的な学習の時間の指導において、児童の学習意欲や達成感を高め、学びを深める指導の在り方を追究し実践してきた。また、複式教育においても、児童の発言を中心に考えを深め合い、高め合う授業展開を工夫し実践してきた。謙虚な態度で自己研鑽を深めるとともに、勤務校だけでなく、広く他校へ参考となる教育実践の普及に努めてきた功績は多大である。

うら たか こ  
浦 貴 子

紀美野町立下神野小学校 校長

《主な功績》 複式学級での国語科の授業にフリートーク等の指導方法を取り入れるとともに、「聞く力、話す力」の指導を系統化し、間接指導時の自主学習やワークシート学習の研究に力を注いできた。また、自主研究を通して、他の複式教育実施校の参考となる研究事例を県内外に発信してきた。複式教育に対する指導助言や、複式の国語科の授業についてのネットワークづくりに関わり、研究の普及に努めてきた功績は多大である。

ひがし お ま き こ  
東 尾 まき子

和歌山県立桐蔭中学校 養護教諭

《主な功績》 「ライフスキル」を根幹とした自己管理能力や自尊感情の育成を目標に、保健衛生の指導や管理について工夫改善に取り組むとともに、県内でいち早くフッ化物洗口を実践し生徒の歯科衛生向上に取り組んできた。保健室相談活動や、保健室経営計画実施の評価に関する研究などを幅広く行い、県内小中学校養護教諭の指導的立場として尽力してきた功績は多大である。

なか おか すすむ  
中 岡 進

和歌山県立紀北工業高等学校 教諭

《主な功績》 機械等に関する専門的知識と技能を生かし、「ものづくり教育」に取り組み、授業やクラブ活動において、生徒が主体的に取り組めるよう、体験活動を中心とした学習方法に工夫を行ってきた。平成6年度より生徒が全国レベルの大会等に参加し、優勝や上位入賞を数々果たすなど指導の成果を上げてきた。また、受賞後も先端技術の研究・習得ならびに開発を課題としたものづくりに挑戦し続け、ソーラーカーレース鈴鹿2017チャレンジクラスでは、2年連続4度目の優勝を果たしている。工業教育の推進に尽力した功績は多大である。

さか ぐち かつ ひろ  
坂 口 勝 弘

和歌山県立和歌山盲学校 校長

《主な功績》 特別支援学校高等部生徒が卒業後の進路先に円滑に移行できるよう、生徒と保護者が参画した独自の個別の移行支援計画(サポートプラン)の作成や、関係諸機関が一堂に会する「移行支援相談会議」を、生徒一人一人について開催するシステムを構築した。このシステムから得られた知見は、切れ目ない支援の充実に向けて本県全体で推進している今日の「つなぎ愛シート(個別の教育支援計画)」活用へと受け継がれており、特別支援教育の推進に尽力した功績は多大である。

# 和歌山県教育委員会功労賞受賞者

## 《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に表彰状を授与する。

たに ぐち まさ ひこ  
谷 口 雅 彦

和歌山市立山東小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成6年から現在まで学校歯科医として健康教育に対し、深い理解と情熱をもち、献身的に健康診断や学校保健会の職務に精励し、学校保健の向上に努めた。また、学校保健会の開催する講演会等にも積極的に参加するなど、日々研鑽し、学校歯科医として学校保健に尽力した功績は誠に顕著である。

つじ おか えつ じ  
辻 岡 悦 二

和歌山市立高積中学校 学校医

《主な功績》 昭和63年から現在まで学校医として、健康診断や学校保健会の職務に従事し、健康管理の指導助言を行い、生徒の健康づくりに尽力した。また、平成18年から現在まで、和歌山市医師会学校医部会副会長を務めるとともに、平成22年から4年間、和歌山市医師会内科部会監事を務めるなど、和歌山市の学校保健に尽力した功績は誠に顕著である。

た じり むね かず  
田 尻 統 一

海南市立中野上小学校 他1校 学校医

《主な功績》 平成6年から現在まで学校医として、子供たちの健康診断及び健康の保持・増進のための指導助言を献身的に行うとともに、学校・家庭・学校医が一体となった子供の健康づくりの推進に大きく貢献した。また、海南市における学校保健教育の推進のため、各種学校保健会議等において積極的に助言するなど、海南市学校保健活動の充実に尽力した功績は誠に顕著である。

かわ しま よし み  
川 嶋 愛 巳

有田市立箕島中学校 学校医

《主な功績》 平成9年から現在まで学校医として、学校保健の充実に熱意を持ち、健康診断や指導助言を行うことで、生徒の健康維持とその向上に努めた。また、平成12年から10年間、有田市医師会理事を務め、学校保健委員会へ積極的に参加し、学校へ指導助言を行うとともに、研修会において講演を行うなど、有田市の学校保健行政の進展に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

うえ はら とし ひろ  
上 原 俊 宏

田辺市立中芳養幼稚園 他 1 2 校 学校医

《主な功績》 平成 6 年から現在まで、田辺市立中芳養幼稚園を始め多数の学校医を務め、子供たちの健康管理及び健康教育の推進に尽力した。また、田辺市医師会理事、田辺市医師会副会長等多くの役職を歴任し、田辺市の学校保健の推進のために献身的に取り組んだ功績は誠に顕著である。

ひら た みつ お  
平 田 晃 生

元 高野町立花坂小学校 他 1 校 学校薬剤師

《主な功績》 昭和 3 7 年から 5 5 年の長きにわたり、学校薬剤師として、児童生徒の健康的な学習環境づくりのため、環境衛生検査に積極的に取り組むとともに、専門的な見地から必要な指導助言を行い、学校の環境衛生の向上に寄与した。また、和歌山県薬剤師会常任理事や伊都薬剤師会会長等の役職を歴任し、伊都地方に限らず、県全体の学校保健向上に貢献した功績は誠に顕著である。

かわ ぐち せい じ  
川 口 精 司

印南町立切目小学校 他 1 校 学校医

《主な功績》 平成元年から現在まで学校医として、健康診断や感染症等の疾病予防のための適切な指導助言を行い、児童の健康管理に尽力した。また、日高医師会理事、日高医師会副議長を歴任し、児童の喫煙防止の啓発を行うなど、学校保健活動の推進に献身的に取り組んだ功績は誠に顕著である。

きた もと いく こ  
北 本 育 子

上富田町立岩田小学校 他 1 校 学校医

《主な功績》 平成 3 年から現在まで学校医として、児童の健康診断を行うだけでなく、健康管理面での指導やインフルエンザ等の感染症予防対策等の助言を積極的に行い、学校保健の充実に尽力した。また、上富田町保健事業においても、疾病予防や健康増進に関し、幅広い助言を行うなど、上富田町の学校保健及び健康推進に尽力した功績は誠に顕著である。

やま もと じ ろう  
山 本 次 郎

和歌山県立貴志川高等学校 他 1 校 学校歯科医

《主な功績》 平成元年から 2 8 年余りにわたり、児童生徒に歯科疾患の撲滅の啓発を行うとともに、口腔保健衛生に関する深い知識と情熱を持って、歯科保健の向上に尽力した。また、那賀歯科医師会理事、和歌山県歯科医師会常務理事等の役職を歴任し、長年にわたり、和歌山県及び那賀地方の学校歯科保健向上の推進に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

さか ぐち けんたろう  
坂 口 健太郎

和歌山県立貴志川高等学校 他1校 学校医

《主な功績》 平成4年から現在まで高等学校・小学校の学校医を務め、学校保健活動の一環として、健康診断時に健康相談及び保健指導等を積極的に行い、児童生徒の健康管理に寄与した。また、貴志川町教育委員会教育委員として、健康教育や学校保健行政に関し、専門的な見地から教育委員会に提言するなど、貴志川町の学校保健活動の充実に尽力した功績は誠に顕著である。

さか もと もり たか  
坂 本 守 孝

和歌山県立南紀高等学校 学校歯科医

《主な功績》 平成3年から現在まで学校歯科医として、専門的な見地から必要な指導助言を行い、学校保健の推進に寄与した。また、定時制・通信制それぞれの課程に合わせた健康診断の実施や、勤労学生 of 健康管理について指導を行うなど、多様な生徒が在籍する中、生徒の健康管理及び健全な育成に尽力した功績は誠に顕著である。

みなと ぐち たか み  
湊 口 孝 美

和歌山県立みくまの支援学校 他1校 学校医

《主な功績》 平成6年から現在まで学校医として、児童生徒の健康的な学習環境づくりのため、環境衛生検査に献身的に取り組み、学校環境衛生の向上に努めた。また、子供たちの健康管理に関し、必要な指導助言を積極的に行うなど、学校保健の向上に努めた。さらに、新宮市医師会理事や新宮市医師会監事の役職を歴任し、新宮市の学校保健活動の充実に尽力した功績は誠に顕著である。

## 《社会教育部門》

社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した方々に表彰状を授与する。

### ●個人の部

むね  
宗

まきこ  
真紀子

和歌山市婦人団体連絡協議会 副会長

《主な功績》 和歌山市婦人団体連絡協議会の会計監査、副会長を歴任し、青少年の健全育成に尽力した。また、人権学習や子育て支援等、多岐に渡る活動の企画・立案、運営等に尽力し、和歌山市の社会教育の振興に寄与した。さらに、和歌山県婦人団体連絡協議会の会計、副会長を歴任し、県及び市の婦人団体連絡協議会で役員を務めながら、各行事や研修会に積極的に参加し、女性の地位向上に努めるなど、幅広い分野において社会貢献した功績は誠に顕著である。

や  
矢

た  
田

よし  
嘉

ひで  
秀

ボーイスカウト和歌山連盟 理事

ボーイスカウト和歌山地区協議会 地区委員長

《主な功績》 昭和54年から、ボーイスカウト第21団のリーダーとして、長年にわたり、団活動・団運営に尽力するとともに、平成21年にはボーイスカウト和歌山連盟理事に就任し、リーダー養成部門において、指導者の育成と資質向上に大きく貢献した。また、平成28年から現在に至るまで、和歌山地区協議会地区委員長を務め、県内のボーイスカウト活動の推進に尽力するなど、青少年健全育成に努めた功績は誠に顕著である。

くり  
栗

やま  
山

ひろ  
博

こ  
子

有田市地域活動連絡協議会 会長

《主な功績》 平成17年に有田市地域活動連絡協議会会長に就任して以来、「地域の子供は地域で育てましょう」を合い言葉に、年間を通し様々な行事を展開し、地域の子供たちの健全育成に努めた。温厚かつ誠実な人柄で地域の連帯意識を高め、ふれあいのある人間関係づくりに地道に取り組んできたことから、地域住民の信頼も厚く、有田市の社会教育や生涯学習の推進に貢献した功績は誠に顕著である。

やま だ まさ み  
山 田 昌 美

かつらぎ町社会教育委員会 会長

《主な功績》 昭和45年にかつらぎ町青年団体連絡協議会が誕生して以来、同連絡協議会会員として青年活動の中心となり、全町的な活動を行うとともに、同連絡協議会の会長、伊都橋本青少年団体連絡協議会会長等を歴任し、青少年の健全育成に尽力した。また、昭和50年から、かつらぎ町社会教育委員として、「かつらぎ町社会教育計画」の立案をはじめ、社会教育関係団体や社会教育指導者等に対する指導助言に積極的に取り組むとともに、町民が心豊かに人生を送れるよう生涯学習の機会と場を提供するための様々な支援や活動を行うなど、社会教育の振興に尽力した功績は誠に顕著である。

にし ほら ひで お  
西 原 英 男

前 和歌山県高等学校PTA連合会 会長

《主な功績》 平成21年に和歌山県高等学校PTA連合会会長に就任、平成23年には、翌年に開催する第62回全国高等学校PTA連合会大会和歌山大会実行委員長に任命され、全国大会の企画立案・運営等の中心として尽力し、成功に導いた。また、平成27年に開催された第41回近畿地区高等学校PTA連合会大会和歌山大会においても、実行委員長に任命され、全国大会のノウハウを生かし、大会の成功に貢献した。和歌山県のPTA活動の中核者として尽力し、PTA活動や高等学校教育の振興発展に貢献した功績は誠に顕著である。

た なか せい こ  
田 中 清 子

和歌山県体操協会 副会長

《主な功績》 平成25年に和歌山県体操協会理事長に就任し、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）での男女総合優勝を目指し、選手の強化育成や組織の体制づくりを行った結果、体操競技成年男女優勝、少年男子・新体操の8位入賞を果たすなど、本県の天皇杯獲得に大きく貢献した。また、平成28年に、和歌山県体操協会の副会長に就任し、次世代の選手育成のための組織強化に尽力し、本県の競技力向上をはじめ、体操の普及・発展に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

わき むら けん  
脇 村 建

有田市体育協会 会長

《主な功績》 昭和60年に有田市体育協会常任理事に就任して以来、常に先頭に立ち、強力なリーダーシップを発揮し、長きにわたり有田市のスポーツ振興に寄与した。平成24年から現在に至るまで、有田市体育協会会長として、市民の運動習慣の形成とともに、さらなるスポーツ人口の拡大に向け、年間を通じたイベントの企画、運営に尽力し、老若男女問わず楽しむことのできるニュースポーツの普及に尽力した。また、年間を通じて14種目のスポーツ教室を行うことで、それぞれのニーズに合った運動機会を提供し、市民の運動実施率向上やスポーツ振興に寄与した功績は誠に顕著である。



## ●団体の部

ひろがわちようこてんげいのうほぞんかい  
広川町古典芸能保存会

代表：佐々木 公平 所在地：広川町

《主な功績》 「広八幡神社の田楽」「乙田の獅子舞」は、ともに毎年10月1日に開催される広八幡神社の秋祭りにおいて奉納される芸能である。これらの保持団体である広川町古典芸能保存会は、奉納芸能の保存・継承を長年にわたって取り組み、活動歴が50年を超える。同保存会では、広八幡神社の秋祭りと奉納芸能を永く後世に伝承するために、同社と氏子有志とともに、田楽の指導や、獅子舞の稽古など、後継者育成に努めている。また、秋祭りには地元小学校の児童も多数参加し、文化財である奉納芸能の公開・普及を通して、本県の伝統文化の教育普及・文化振興にも大きく貢献している。このように、同保存会の活動を通じて、地域の若者や子供が伝統芸能に参加することにより、地域文化の担い手づくりや、地域住民の世代間の融和、郷土の歴史文化を学習する機会が保たれており、本県の伝統文化の向上と発展に多大な貢献をしている功績は誠に顕著である。

## 《教育行政部門》

本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に表彰状を授与する。

くす  
楠

さよこ  
サヨコ

前 かつらぎ町教育委員会 委員長

《主な功績》 平成17年にかつらぎ町教育委員会委員に就任し、小中学校の統廃合や耐震改修等の学校の適正配置の実現に向け、住民の意見を踏まえながら積極的に取り組み、子供たちの教育環境の改善に貢献した。また、幼児教育・保育を一体的に提供できる環境の整備を目指し、町内の保育所と幼稚園を統合し、認定こども園を開設するため、関係者との協議を重ね、子育て支援の充実に努めるなど、かつらぎ町の教育振興に尽力した功績は誠に顕著である。

こ たに まちこ  
小 谷 真千子

元 みなべ町教育委員会 委員長

《主な功績》 平成14年から旧南部町教育委員会教育委員に就任し、合併後のみなべ町においても教育委員を務め、耐震補強工事や給食センターの建設等、児童生徒の学習環境の充実に尽力した。平成26年の中学校統合に関し、地元の意見を教育委員が直接聞く機会を提案し、幅広い意見を聴取するなど、関係者と教育委員の意思統一をはかり、学校統合の円滑な推進に尽力した。また、教育委員会の議論の場において積極的に発言し、温かみのある教育施策作りの核となり、みなべ町教育行政の円滑な推進に貢献した功績は誠に顕著である。



# きのくに教育賞受賞者

本県学校教育において、特に優れた教育実践を行い成果を上げていると認められる教職員の方々に表彰状を授与する。

## 《幼稚園の部》

よし おか ち え  
吉 岡 知 枝

和歌山市立和佐幼稚園 教諭

### 《主な功績》

幼稚園では、他の教員の士気を高めながら協力体制を構築するとともに、保護者との関係づくりを大切にするなど、担任・教務主任の役割を果たし、園の研究・実践の深まりに寄与している。また、園児一人一人を大切にしたい指導を行い、園児がチャレンジできる環境構成や場づくりなども熱心に行い、保護者からの信頼も厚い。

園内だけではなく、和歌山市公立幼稚園教育研究会領域別部会（表現部会）においてもリーダーシップを発揮している。県教育委員会が主催する平成29年度幼稚園・保育所・認定こども園関係職員合同研修「教育課程・保育実践協議会」において、「特別支援を必要とする幼児の実態に応じた計画的、組織的な指導の在り方について」をテーマに所属園の取組を発表し、研究成果の普及に努めた。

## 《小学校の部》

なか や い く こ  
中 屋 幾久子

海南市立大野小学校 栄養教諭

### 《主な功績》

平成23年度文部科学省「栄養教諭を中核とした食育推進事業」では、学級担任等とTTによる発達の段階に応じた食に関する指導を実践し、学校における食育の中心的な役割を担うとともに、朝食摂取の啓発に関するリーフレットを作成し、学校と家庭が連携した食育の推進に貢献した。平成25年度、県教育委員会が作成した「紀州っ子のこころとからだをつくる食育の手引」の協力者として、食に関する指導実践事例を提供するなど、県内の学校における食育の推進に寄与した。

学校給食に地場産物や郷土料理を取り入れ、食に関する指導の生きた教材として学校給食の在り方を研究し、平成22年度全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会をはじめ各種研修会等においてその成果の普及に努めた。海南市の中学校給食開始に際し、長年の経験と専門的な知識に基づき、調理施設の改修、調理機器の新規導入や給食指導の在り方等について助言を行い、学校給食の普及・充実に貢献した。

かわしまみほ  
川 嶋 美 保

有田市立箕島小学校 教諭

《主な功績》

音楽の専門性を生かし、学習内容や方法などを常に創意工夫した授業を行うことで、児童一人一人の音楽に対する意欲や向上心を高め、資質や能力を引き出している。また、情操面の育成にも寄与している。楽器の演奏等の指導において、児童に到達目標を明確に示し、休憩時間や放課後にも補充学習を行うなど、どの児童にも確実に力を付けるとともに、達成感や成就感を持たせている。

学校祭や地域の音楽会等において、例年、音楽の世界を広げることを意識した曲を選定し、児童が表現力豊かに演奏している姿には、保護者や地域の方々から高い評価を得ている。県小中学校音楽教育研究大会では、研究発表や研究演奏を行うとともに、その指導法や研究成果を発信している。また、平成24・25年度に県指導委員を務め、授業研究会等において指導助言を行い、地域における音楽科の指導力向上に寄与した。

なかねまさとみ  
中 根 真 富

田辺市立芳養小学校 教諭

《主な功績》

学校全体でのノート指導の統一等、6年間を見通した「芳養方式」の確立に寄与した。また、全国学力・学習状況調査の結果等の分析や、教職員の中での共有、改善に向けた取組を通して、児童の学力向上に貢献した。教務主任として、田辺市教務主任者会で自らの取組を発表し、市内全体に成果を普及してきた。日常業務の中で、自らが率先して行動することで模範を示し、若手教員の育成に貢献してきた。

教科指導においては、1年間を見通した計画を立て、学習環境を工夫し取り組んでいる。特に、家庭科においては、平成24年度全国家庭科教育協会東京大会や全国小学校家庭科教育研究会佐賀大会など、様々な場で研究発表を行うなど、広く家庭科教育の発展に寄与してきた。

まえだゆうし  
前 田 裕 史

那智勝浦町立市野々小学校 教諭

《主な功績》

教育活動全体を通じて、「思考力・判断力・表現力」及び「コミュニケーション力」等の育成を図り、学力向上に尽力している。研究主任として、児童が自分の考えを効果的に伝えることを大切にした授業の研究を進め、学び方をまとめた「市野々スタイル」を提案した。また、ICTの活用について組織的な取組を推進し、学校全体での系統的な学びの確立や他の教員の授業力向上等、学校の教育活動を牽引している。

平成22年度から東牟婁地方小学校国語研究会の事務局長を務め、「研修会」「授業研究」の企画を行うとともに、平成22・29年度県小学校国語研究大会東牟婁大会において、公開授業を通じて実践提案を行った。平成28・29年度には県指導委員を務め、東牟婁地方の国語教育の発展に寄与した。また、地域と連携したふるさと学習を推進し、平成27年度、担当学年の実践で「ふるさとわかやま学習大賞」を受賞した。

## 《中学校の部》

ゆ かわ まさ ゆき  
湯 川 将 之

紀の川市立打田中学校 教諭

### 《主な功績》

美術科担当としての高い専門性を生かし、生徒が集中して取り組めるように授業の導入や活動の内容等を熱心に研究し、実践している。また、自作の副教材（WORK NOTE）を用いて、1年間の見通しを持って学習させ、生徒が自分の活動を振り返り、成長や達成感を得られるよう工夫し、生徒の学習意欲を向上させている。陶芸の専門知識を生かし、近隣の小中学校や公民館等で講師を務め、地域の児童生徒にもものづくりの楽しさや喜びを伝えている。

平成22年度から24年度まで県指導委員を務め、授業研究会等で指導助言を行い、美術科を担当する教員の指導力向上に貢献した。紀の川市初任者研修において、図画工作・美術をテーマに講師を務めてきた。また、若手教員のよき相談役・指導者となり、若手教員に意識改革をもたらすなど、所属校や地域のリーダー的な存在として信頼も厚い。

かわ もと みちこ  
川 本 三智子

白浜町立富田中学校 教諭

### 《主な功績》

所属校の研究主題「わかる授業の創造～単元計画作成、小集団活動をとおして～」のもと、グループリーダーとして授業研究を推進し、他の教職員の模範として、学校教育活動を牽引している。国語科の指導における「めあて」「自分の考えを書く」「振り返り」を明確に示した授業形態を確立し、生徒が自分の成長を実感できる授業を実践し、その教育実践を他の教職員に広めてきた。平成23年度には、県指導委員を務め、授業研究会等で指導助言を行い、地域における国語科の指導力向上に寄与した。

白浜町教育委員会研究指定校の国語部会講師として、指導案や授業の進め方等に関して適切な指導助言を行い、授業力向上に大きく貢献している。また、平成28年度、県教育委員会が作成した「きいちゃんと学ぶ！国語マスター問題集1年生」の協力者となり、生徒の語彙力・読解力向上に寄与した。

さ さ き けん  
佐々木 建

和歌山県立日高高等学校附属中学校 教諭

### 《主な功績》

授業のねらいを明確にし、生徒が目的意識を持って授業中の活動を行えるように教材の開発や指導方法を研究している。校外学習での外国人インタビューや、修学旅行で大使館を訪問し、英語で和歌山県や日本文化の紹介をするなど、生徒が意欲的に英語学習に取り組める機会を計画的に設定し、生徒の英語力・コミュニケーション能力を向上させている。

平成21年度から23年度まで県指導委員を務め、授業研究会等で指導助言を行い、地域における英語指導力の向上に貢献した。また、研究主任として、高大接続を意識したより効果的な教育計画を作成し、日々実践するとともに、研究授業を率先して実施し、当該地方や県立中学校の英語教員等にも広く研究成果を普及し、授業力向上に寄与した。

# 《高等学校・特別支援学校の部》

にし むら ゆ き  
西 村 有 記

和歌山県立粉河高等学校 実習助手（学校司書）

## 《主な功績》

よみかたりボランティアの派遣を契機に、小学校・特別支援学校・病院等と継続的な交流を行うなど、採用以来、地域との交流を盛んに行っている。

平成25年度から3年間「橋本市子ども読書活動推進会議委員」として活動するなど、自身の実践や自己研鑽をとおして得られた知識や経験を小学校や公民館・児童館に提供し、地域の図書館教育の指導的立場を担っている。

県主催のビブリオバトル大会が開催される前から、校内で取組を推進し、県大会が開催されるようになってからは、毎年生徒を出場させている。県教育委員会が主催し、和歌山県立図書館が主管する手作り紙芝居コンクールにも意欲的に取り組み、指導した生徒の作品が同コンクールの第1位を2回受賞している。また、地域の書店と連携した読書推進ポスターの企画・制作指導や小学生との交流で作成したPOPの書店展示、読書推進に関する実践について発信を続けている。

勤務校以外からの質問や相談にも快く応じるなど、他校の学校司書からの信頼も厚く、図書館運営の改善や読書活動の推進に寄与している。

にし むら ただし  
西 村 匡

和歌山県立新翔高等学校 教諭

## 《主な功績》

平成24年度から同校の生徒指導部長を4年間務めるなかで、その活躍が評価され、平成25年度には「いじめ問題に関する指導者養成研修」、平成26年度には「生徒指導者養成研修」に参加した。平成27年度には、県立学校等生徒指導部長会議の講師として生徒指導に係る講演を行い、県立高等学校等の生徒指導力向上に貢献した。

平成28年度から、同校の教育相談・特別支援コーディネーターとして、生徒指導部と教育相談担当、養護教諭等の連携を深めるとともに、児童相談所や社会福祉協議会、市町村教育委員会、青少年センター等の外部の関係機関と学校との連携を強化した。さらに、ケース会議では、学校内外の関係者を積極的に招集し、幅広い視点から生徒を支援するための体制を構築した。

特別支援学校における7年間の勤務経験を生かし、特別支援教育の視点を取り入れた生徒指導体制、教育相談体制を整備し、生徒の特性に応じた支援を図っている。

日々の教育活動に取り組む姿勢は、他の教員の模範となり、生徒、保護者からの信頼も厚い。

## 《主な功績》

県内で初めて複数の障害に対応する学校として開校したきのかわ支援学校において、開校当初から、栄養バランスや安全に食べられる食物形態、アレルギー対応等、障害の特性や個々のニーズに応じた給食の提供に尽力してきた。

給食メニューの開発にも意欲的に取り組み、地域で収穫される食材を活用したメニューを多数提供している。地産地消給食等メニューコンテストでは、平成27・28年度に、近畿農政局長賞を2年連続で受賞する等、栄養士としての功績を上げた。平成29年度には、第12回全国学校給食甲子園において、第1次・第2次予選審査を通過し、県代表に選ばれた。

同校の避難訓練では、備蓄品として保管している非常食や保存食等の食料品を有効活用し、災害時を想定した給食を児童生徒に提供するとともに、保護者に対しても給食日より等で情報発信を行っている。また、地域の生産者や栄養士を含む関係者との連絡会議において、給食での使用が可能な食材の情報を収集し、献立の決定に活かすとともに、生産者の思い等見聞きしたことを児童生徒に伝え、食を通じた地域の理解促進や食文化への関心を引き出す取組を行っている。

## 《主な功績》

特別支援学校における医療的ケア実施体制の整備が全国的に進み始めた平成17年度から、校内における実施体制の構築に携わるとともに、教員等による医療的ケアへの対応が実質的に法制化された平成24年度以降も、校内における研修実施体制の推進等、医療的ケアが必要な児童生徒の安心・安全な学校環境づくりに寄与している。

平成27・28年度には、和歌山県特別支援学校医療的ケア運営協議会の委員として、本県における特別支援学校医療的ケア研修実施体制の分析・検証作業に参画し、養護教諭の立場から課題提起を行う等、県内の特別支援学校医療的ケア実施体制の充実に寄与した。

平成25年度には、学校歯科保健優秀校担当職員として表彰を受けるとともに、所属校では保健主事を担う等、学校保健のキーパーソンとして活躍している。

保健管理に係る多様な分野で、学校内外の関係者を集めたケース会議をコーディネーターする等、学校医、保護者、教員等からの信頼が厚い。

## 《団体の部》

たなべしりつしんじょうちゅうがっこう  
田辺市立新庄中学校

校長：中本 克彦

### 《主な功績》

平成13年度から始まった3年生の「新庄地震学」は、各教科と防災教育を結び付けた課題探究学習として始まり、地域の課題を自分たちの課題として捉え、「防災意識調査（数学班）」、「外国人のための防災パンフレット作成（英語班）」、「防災カレンダー作成（美術班）」等、様々な活動を行い、地域全体の防災意識の向上に寄与した。

地元の保育所や小学校への出前授業の実施（「紙芝居」「防災ダンス」等）、防災ラジオドラマの発信、新庄地震学の発表会、近隣小学校や地元町内会と連携した合同避難訓練、地元FMラジオ局やJRとの連携避難訓練等を通して、社会性を育み、地域を担う生徒の育成を図っている。

近隣7校の中学生を集めた「防災交流会」において、パネルディスカッションや防災劇を披露するなど、域内中学校の防災教育の普及・発展に貢献した。

田辺市とすさみ町の中学生が防災をテーマに交流体験をする「ぼうさい未来学校」や、神戸で開かれた「ぼうさい甲子園交流会」、「全国防災ジュニアリーダー合宿」等に参加するなど、防災教育のさらなる発展に努めている。

しんぐうしりつじょうなんちゅうがっこう  
新宮市立城南中学校

校長：速水 盛康

### 《主な功績》

平成25・26年度、文部科学省委託和歌山県人権教育推進事業を受け、自尊感情を高め、主体的な活動や学習意欲の向上を目指す研究に取り組み、生徒の自尊感情や規範意識、学習に対する意識を向上させた。

「授業研究」「人権教育」「生徒指導」の3部会が、生徒の実態を把握し、付けたい力を明らかにした取組を提案するとともに、すべての教科等で「城南中学校授業の5原則」の実践や、「自主学ノートの手引き」の作成・活用を通して、生徒の学力の向上を図っている。また、「相談シート」や「支援のためのチェックリスト」等を活用し、より深い生徒理解に努めている。学級活動や生徒会活動等では、人との関わりを大切にしたい取組を通して、規範意識やリーダー性の育成を図っている。

これらの取組に全教職員が一丸となって取り組む姿は他校の模範になるとともに、平成26年度和歌山県人権教育推進事業研究発表会、平成28年度和歌山教育実践研究大会において公開授業及び実践発表を行い、その成果を県内に普及した。

# きのくに教育の匠

きのくに教育賞受賞者のうち、特に継続的な実践で成果を上げ、かつ、他の教員の指導力向上に寄与した方に対して称号を与える。

なか や い く こ  
中 屋 幾 久 子

海南市立大野小学校 栄養教諭

かわ しま み ほ  
川 嶋 美 保

有田市立箕島小学校 教諭

なか ね まさ とみ  
中 根 真 富

田辺市立芳養小学校 教諭

にし むら ただし  
西 村 匡

和歌山県立新翔高等学校 教諭

※《主な功績》については、きのくに教育賞受賞者を御覧ください。